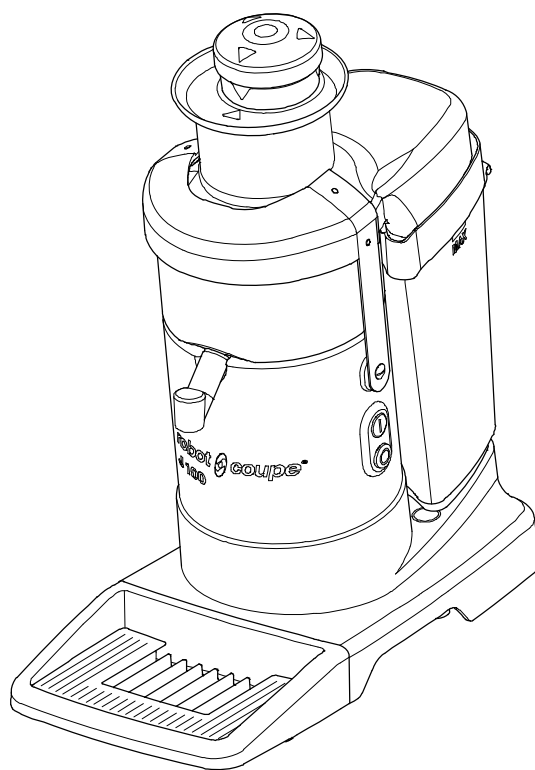


ロボクーブ ジューサー

J-100 (業務用)

**robot coupe<sup>®</sup>**

## 取扱説明書



このたびは、当社のロボクーブ ジューサー (J-100) をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございました。

この商品を安全に正しくご使用いただくために、お使いになる前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ安全にお使いください。

お読みになったあとは、いつも大切に保管し、必要なときにお読みください。

# もくじ



安全上のご注意.....	1～6
各部の名称.....	7
据付けについて.....	8・9
操作手順.....	10～14
本機の各 부품の組合せについて.....	15・16
お手入れ.....	17～21
故障の診断と手当.....	22・23
仕様.....	24
保証書(別添付)について/消耗品/補修用性能部品の保有期間.....	25

# 安全上のご注意

ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください  
ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守ってください




表示と意味は次のようになっています。

## 注意喚起シンボルとシグナル表示の例

 <b>警告</b>	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
 <b>注意</b>	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害*の発生が想定される内容を示します。

\*物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を示します。

## 図記号の例

 感電注意	△は、注意（警告を含む）を示します。 具体的な注意内容は、△の中や近くに絵や文章で示します。 左図の場合は「感電注意」を示します。
 接触禁止	⊘は、禁止（してはいけないこと）を示します。 具体的な禁止内容は、⊘の中や近くに絵や文章で示します。 左図の場合は「直接手を触れないこと」を示します。
 プラグを抜く	●は、行動の命令（強制）を示します。 具体的な強制内容は、●の中や近くに絵や文章で示します。 左図の場合は「差し込みプラグをコンセントから抜く」を示します。

## ⚠ 警告



アース線接続

### アース線を必ず接続すること

アース線はガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。アースが不完全な場合は、感電の原因になります。設備側にアース端子がない場合、電気工事士によるD種接地工事が必要です。電気工事店に依頼してください。



専用電源

### 本機の電源は、専用の漏電遮断器付サーキットブレーカーもしくは、それと同等の設備のある専用コンセントを使用すること

電源コードは途中で接続したり、延長コードの使用、およびタコ足配線をした場合には、感電や発熱、火災の原因になります。



電気工事

### 電気工事は、「電気設備に関する技術基準」、「内線規定」に従って施工し、必ず専用回路を使用すること

電源回路不良、容量不足や施工不備があると、漏電、ショート、感電、火災の原因になります。



屋外禁止

### 屋外で使用しないこと

雨水のかかる場所で使用されると、漏電、ショート、感電の原因になります。



湿気禁止

### 湿気の多い所や、水などがかかり易い、または流れてくるところに据え付けないこと

本体や電源コードに水がかかると、絶縁低下から漏電、ショート、感電の原因になります。



確認

### 据え付ける場所が、水などで濡れていないことを確認すること

モーターが高速回転したとき、本体の底部から吸い上げ、モーターの絶縁不良と回転不良の原因になります。また、漏電、ショート、感電の原因になります。



水掛け禁止

### 本体に直接水をかけないこと

漏電、ショート、感電の原因になります。



禁止

### 電源コードを傷つけないこと

加工したり、引っ張ったり、たばねたり、また重いものを乗せたり、挟み込んだりすると、電源コードが破損し、感電、ショート、火災の原因になります。

## ⚠ 警告



禁止

電源コードや電源プラグ、プラグアダプターが破損している場合は使用しないこと  
そのまま使われますと、ショート、感電、火災の原因になります。



点検清掃

電源プラグやプラグアダプターの刃および刃の取付面にほこりが付着していないか定期的  
に電源プラグを抜いて確認し、刃の根元まで確実に差し込むこと

ほこりが付着した場合や、接続が不完全な場合は、感電、火災の原因になります。



連絡

漏電遮断器または、サーキットブレーカーが『OFF(切)』に作動した場合には、お買  
上げ店に連絡すること

無理にレバーを『ON(入)』にすると、ショート、感電、火災の原因になります。



接触禁止

機械内部の電気装置や配線にさわらないこと

電気装置や配線に触れると、感電する恐れがあります。



濡手禁止

濡れた手で電源プラグなどの電気部品に触れたり、本体の各スイッチを操作しないこ  
と

漏電、ショート、感電の原因になります。



プラグを抜く

異常時は停止スイッチ「◎」(赤色)を押して機械を止め、コンセントから電源プラグ  
を抜いて、すぐにお買上げ店へ連絡すること

異常のまま使用を続けると、ショート、感電、火災の原因になります。



換気

ガス器具などからガスが漏れていたら、本機を使用せずに、窓をあけて換気すること  
本機の操作スイッチを押したり、電源プラグを抜いたりすると、引火爆発し危険です。



禁止

食材の投入口への落とし込みは手でおこなわず、必ずガイドを使用すること

手でおこなうと、ケガの原因になります。

## ⚠ 警告



接触禁止

フィルターバスケットの刃の部分は直接触らないこと

ケガの原因になります。



置場所

本体より取り外したフィルターバスケットは、安全な場所に置くこと

誤って刃の部分に触れた場合、ケガの原因になります。



挿入禁止

運転中は、投入口から指、箸、スプーンなどを入れないこと

誤ってフィルターバスケットの刃に触れた場合、ケガの原因になります。  
フィルターバスケットの刃や箸、スプーンが破損した場合は、異物混入の原因になります。



禁止

フィルターバスケットの回転が完全に止まるまでは、ロックレバーを解除し、ボウルカバーを開けないこと

誤ってカッターに触れた場合、ケガの原因になります。  
材料が飛び散り、周囲を汚す原因になります。



禁止

修理技術者以外の人には絶対に分解したり、修理したりしないこと

修理に不備があると、ショート、感電、火災などの原因になります。



改造禁止

改造は絶対におこなわないこと

改造をされると、ショート、感電、火災の原因になります。



専門業者

廃棄は専門業者か、お買上げ店に依頼すること

放置しますと、子供などがケガをする原因になります。

## ⚠ 注意



水平据付

丈夫で平らな所に水平になるように据え付けること

据え付ける場所が、ガタついていたたり、かたむいていたりしますと転倒、落下によるケガなどの原因になります。



禁止

本機の上に重量物や、水を入れた容器を置かないこと

落下してケガをしたり、こぼれた水で電気部品の絶縁が悪くなり、漏電、ショート、感電の原因になります。



禁止

電源プラグを抜くときは、電源コードを持って抜かないこと

必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張ると電源プラグ内部でコードが傷つき、ショート、感電、火災の原因になります。



熱器具禁止

熱器具を乗せたり、熱器具を周囲に置いたりしないこと

熱で樹脂部品が変形したり、破損したりした場合、ケガの原因になります。



可燃物禁止

可燃性のスプレーを近くで使用したり、可燃物を置いたりしないこと

本機の操作スイッチを入れたり、電源プラグを抜いたりすると、発火の原因になります。



確認

果汁(ジュース)を受ける容器、受け皿、果肉容器または果肉排出チューブが正しくセットされているか確認をしてから運転すること

果汁(ジュース)や果肉が飛び散って周囲を汚したり、こぼれた果汁(ジュース)で電気部品の絶縁が悪くなり、漏電の原因になります。



停止確認

停止スイッチ「◎」(赤色)を押して機械を止めた後、モーターの回転が完全に停止してから(10秒以上)、果汁(ジュース)の容器や果肉容器を本体から取り外すこと

モーターの回転中に果汁(ジュース)の容器や果肉容器を取り外すと、果汁(ジュース)、果肉が飛び散って周囲を汚したり、こぼれた果汁(ジュース)で電気部品の絶縁が悪くなり、漏電の原因になります。



プラグを抜く

お手入れや点検のときは、停止スイッチ「◎」(赤色)を押して機械を止め、コンセントから電源プラグを抜くこと

コンセントに電源プラグが差し込まれた状態で、誤って連続調理スイッチ「①」(緑色)を押してしまった場合、ケガの原因になります。漏電、ショート、感電の原因にもなります。

## ⚠ 注意



### 除菌洗浄

ご使用後、フィルターバスケット、ジュース収集ボウル、ボウルカバー、ガイド、果肉容器、果肉排出チューブ、ゴムバンド、マシン台、受け皿は、洗浄剤を使って洗浄をおこなうこと

洗浄が行き届きの場合、付着した食材や果汁（ジュース）が腐敗したり雑菌が繁殖して健康障害の原因になります。



### 接触禁止

フィルターバスケットの刃の部分は直接触らないこと

ケガの原因になります。



### 置場所

本体より取り外したフィルターバスケットは、安全な場所に置くこと

誤って刃の部分に触れた場合、ケガの原因になります。



### 洗い流す

洗剤を使ったあとは、洗剤成分を十分に洗い流すこと

洗剤成分が残っていると、健康障害の原因になります。



### プラグを抜く

ご使用後は、安全のため停止スイッチが「◎」（赤色）を押して、電源プラグを抜くこと

電源プラグやコンセント部にほこりが溜まって発熱、発火の原因になります。



### 動作点検

漏電遮断器は月に1回動作確認すること

漏電遮断器を故障のまま使用すると、漏電のとき動作せず、感電の原因になります。



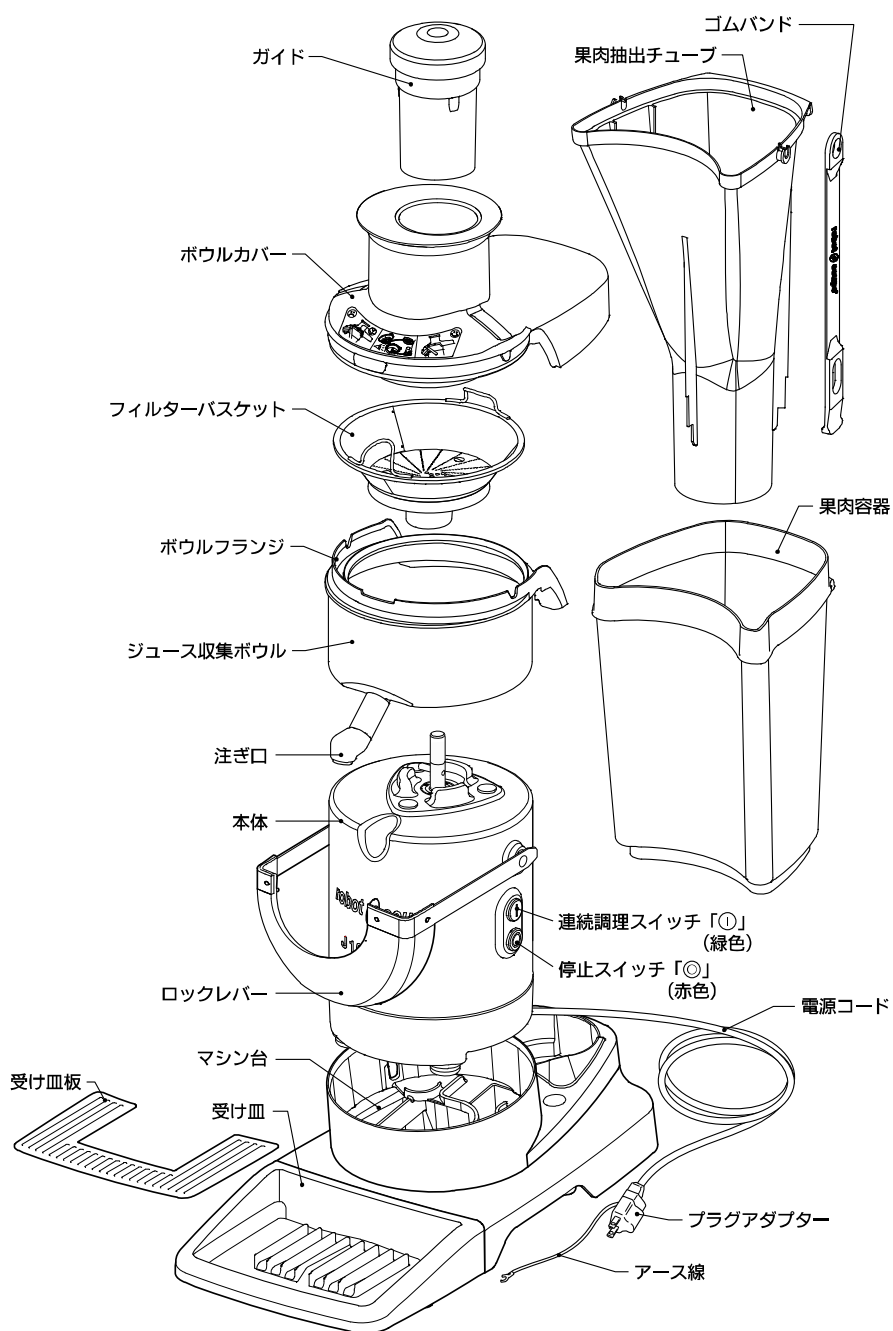
### テープ止め

このお使いになっている商品を転売や、譲渡されるときには、新しく所有者となる方が安全な正しい使いかたを知るために、この取扱説明書を商品本体の目立つ所にテープ止めすること



# 各部の名称

本機は、食材(野菜やくだもの)を果汁(ジュース)と果肉に分離する機械です。



## お願い

水分量が少なく粘度の高い食材(例:バナナやアボカドなど)や薬物は調理しないでください。  
故障の原因になります。

# 据付けについて

## ⚠ 警告



本機の電源は、専用の漏電遮断機付きサーキットブレーカーもしくは、それと同等の設備の専用コンセントを使用すること  
電源コードは途中で接続したり、延長コードの使用、およびタコ足配線をした場合には、感電や発熱、火災の原因になります。



湿気の多い所や、水などがかかり易い、または流れてくるところに据え付けないこと  
本体や電源コードに水がかかると、絶縁低下から漏電、ショート、感電の原因になります。



据え付ける場所が、水などで濡れていないことを確認すること  
モーターが高速回転したとき、本体の底部から吸い上げ、モーターの絶縁不良と回転不良の原因になります。また、漏電、ショート、感電の原因になります。



アース線を必ず接続すること  
アース線はガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。アースが不完全な場合、感電の原因になります。設備側にアース端子がない場合、電気工事士によるD種接地工事が必要ですので、電気工事店に依頼してください。

## ⚠ 注意



丈夫で平らな所に水平になるように据え付けること  
据え付ける場所が、ガタついたり、かたむいていたりしますと転倒、落下によるケガなどの原因になります。

作業に支障がないように、十分なスペースを確保してください

操作パネルが正面にくるように据え付けてください

据え付ける場所が、水などで濡れていないことを確認してください

モーターが高速回転したとき、本体の底部から吸い上げ、モーターの故障の原因になります。

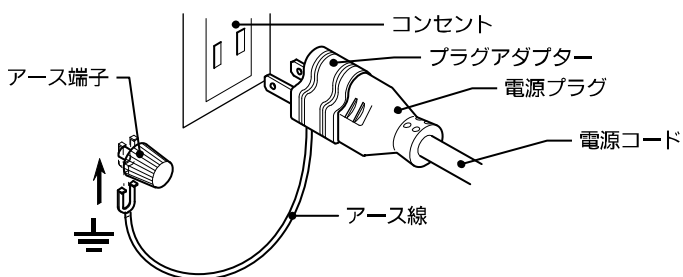
本機は、コンセントに電源プラグを接続した場合、コードに余裕があるように据え付けてください

電源コードの長さ：1.5m

電源プラグの先に取り付けたプラグアダプターのアース線をアース端子に接続してください

アース線は、電源プラグより出ている緑色の線です。

ご使用の際は、本機専用のコンセントに電源プラグ(プラグアダプター付)を差し込んでください



### お願い

延長ケーブルを使わずに直接 100V のコンセントに接続してください。

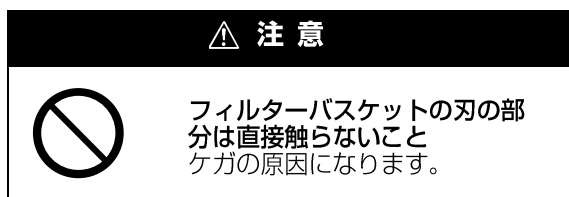
長い延長ケーブルなどを使用しますと、電圧降下のため起動しないことがあり、電圧降下が大きい場合（モーター起動電圧AC85V以下）は、モーターの起動電流値が異常に高くなり、故障の原因になります。

# 操作手順

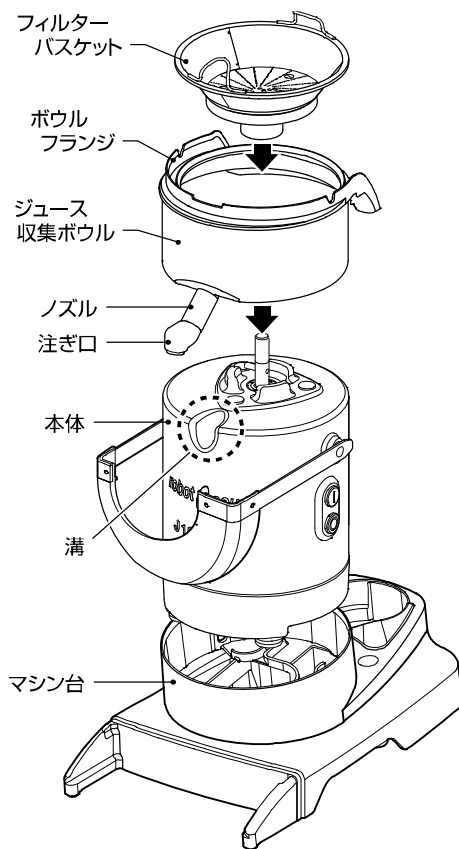
1. 調理を始める前に、「お手入れ」(17ページ)を参照して、フィルターバスケット、ボウルカバー、ガイド、ジュース収集ボウル、果肉容器（または果肉排出チューブ）をきれいに洗浄してください

## 2. 本体、ジュース収集ボウル、フィルターバスケットを取り付けてください

- 1) マシン台の上に本体を載せてください。
- 2) ジュース収集ボウルにボウルフランジと注ぎ口を取り付けてください。
- 3) 本体にジュース収集ボウルを載せてください。  
本体の溝とジュース収集ボウルのノズルが合うようにして載せてください。

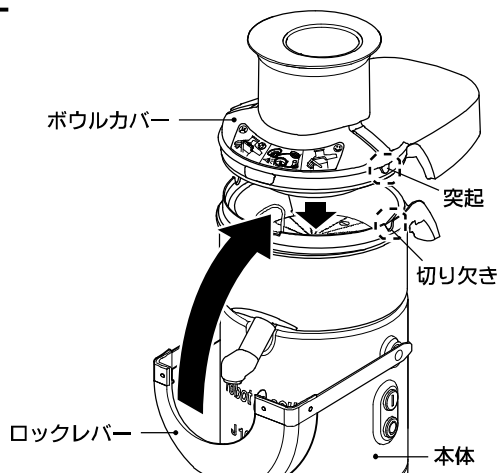


- 4) フィルターバスケットをモーター軸に差し込み、左右いずれかに回して載せ、“コトン”と落ち込む位置まで下げてください。  
フィルターバスケットが正しく取り付けられていないとボウルカバーがセットできません。



## 3. ボウルカバーを取り付け、ロックレバーをセットしてください

- 1) ボウルカバーの突起とボウルフランジの切り欠きが合うように取り付けてください。
- 2) ロックレバーをしっかりとセットしてください。




## メモ

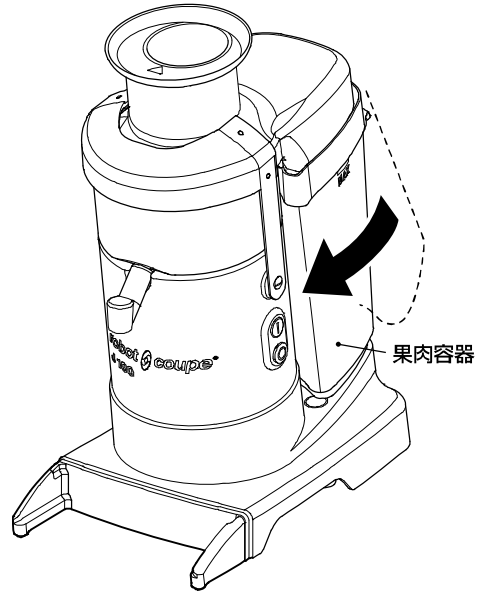
ボウルカバーが正しくセットされていないか、ロックレバーがしっかりセットされていないか、安全装置が解除されません。

安全装置がはたらいっている状態では、連続調理スイッチ「①」(緑色)を入れても本機は、動作しません。

## 4. 果肉容器をセットしてください

**注意**


 果肉容器が正しくセットされているか確認してから運転すること  
果汁(ジュース)や果肉が飛び散って周囲を汚したり、こぼれた果汁(ジュース)で電気部品の絶縁が悪くなり、漏電の原因になります。

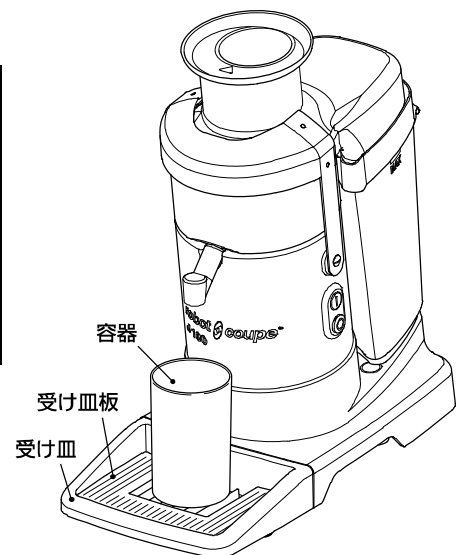


## 5. 果汁(ジュース)を入れる容器をセットしてください

1) 注ぎ口の下に受け皿、受け皿板をおいてください。

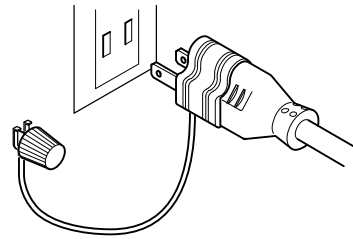
**注意**

 果汁(ジュース)を受ける容器、受け皿が正しくセットされているか確認してから運転すること  
果汁(ジュース)や果肉が飛び散って周囲を汚したり、こぼれた果汁(ジュース)で電気部品の絶縁が悪くなり、漏電の原因になります。




2) 受け皿のうえに果汁(ジュース)を入れる容器をおいてください。

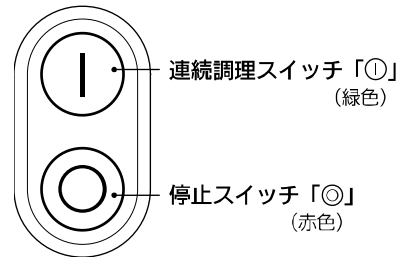
## 6. コンセントに電源プラグ(プラグアダプター付)を差し込んでください



## 7. 連続調理スイッチ「①」(緑色)を押して本機を運転させてください

**警告**

 濡れた手で電源プラグなどの電気部品に触れたり、本体の各スイッチを操作しないこと  
漏電、ショート、感電の原因になります。




### お願い

調理をするときは、必ず連続調理スイッチ「①」(緑色)を押してから、食材を投入してください。  
先に食材を入れてから、連続調理スイッチ「①」(緑色)を入れると、モーターに負荷がかかり故障の原因になります。

## 8. 投入口から食材を投入してください

**警告**

 食材の投入口への落とし込みは手でおこなわず、必ずガイドを使用すること  
手でおこなうと、ケガの原因になります。

### お願い

調理する食材は、基本的に包丁で容易に切ることができる堅さのものを使用してください。  
水分量が少なく粘度の高い食材(例: バナナやアボカドなど)や葉物は調理しないでください。  
故障の原因になります。

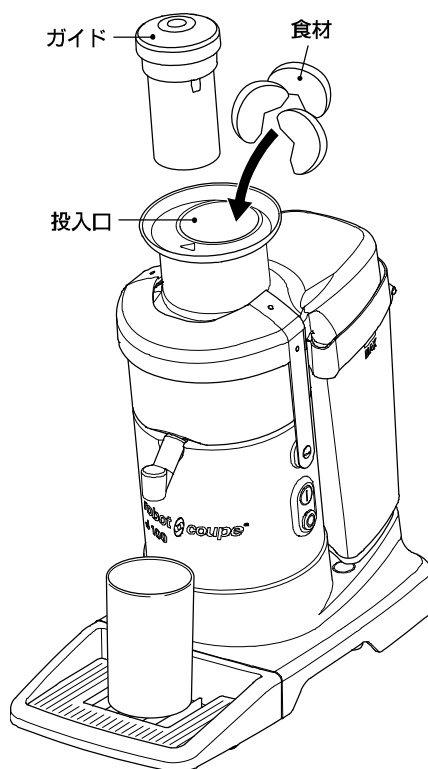
ガイドは、食材が投入口から飛び出すのを防止、または食材が投入口内に引っかかったときに落とし込む場合にご使用ください。

### お願い

本機は、モーター保護装置が内蔵されています。堅い食材や粘度の高い食材などを調理して、モーターに過負荷がかかった場合、モーター保護装置がはたらいて機械が止まります。

機械が止まった場合は、停止スイッチ「◎」(赤色)を押した後、コンセントから電源プラグを抜いて、止まる原因になった食材を取り除いてください。

約5分待ってから、機械の底面にあるリセットスイッチを押し、専用コンセントに電源プラグ(プラグアダプター付)を差し込んでから、連続調理スイッチ「①」(緑色)を押してください。



ガイドを使用する際は、強く押さえずに手をそえる程度にしてください。

ガイドを強く押さえるとモーターに過負荷がかかり、モーター保護装置がはたらいて機械が止まる原因になります。

## 9. 調理が終わりましたら、停止スイッチ「◎」(赤色)を押して機械を止めてください

### ⚠ 注意



停止スイッチ「◎」(赤色)を押して機械を止めた後、モーターの回転が完全に停止してから(10秒以上)、果汁(ジュース)の容器や果肉容器を本体から取り外すこと。モーターの回転中に果汁(ジュース)の容器や果肉容器を取り外すと、果肉、果汁(ジュース)が飛び散って周囲を汚したり、こぼれた果汁(ジュース)で電気部品の絶縁が悪くなり、漏電の原因になります。

## お願い

調理中および調理完了後に機械の運転を止めるときは、必ず停止スイッチ「◎」(赤色)を押して止めてください。

運転中にロックレバーを解除して機械を止める使いかたをしますと、本体内蔵のスイッチASSYやモーターの故障の原因になります。

## 10. 果汁(ジュース)の入った容器を取ってください

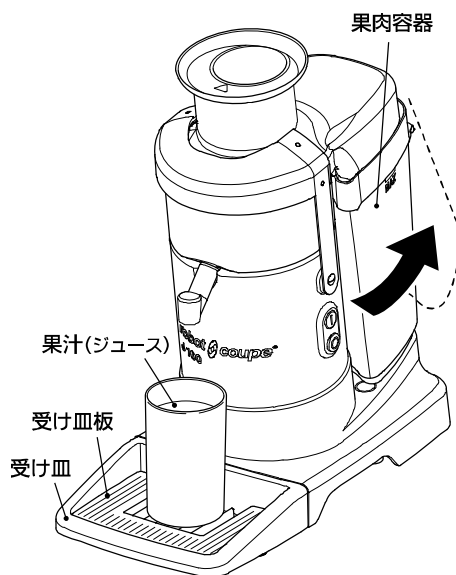
## 11. 果肉容器を取り外してください

### お願い

果肉容器の容量は7.5Lです。

容量を超えないように、果肉を取り出してください。

果肉容器を取り外す場合は、停止スイッチ「◎」(赤色)を押して機械を止めた後、モーターの回転が完全に停止してから取り外してください。



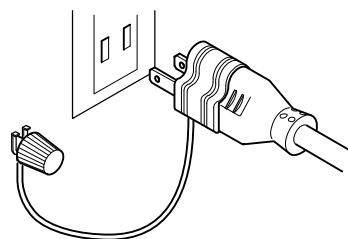
## 12. コンセントから、電源プラグ(プラグアダプター付)を抜いてください

ご使用後は、「お手入れ」(17ページ)を参照して、フィルターバスケット、ボウルカバー、ガイド、ジュース収集ボウル、果肉容器(または果肉排出チューブ)をきれいに洗浄してください。

### お願い

運転中は、危険ですから投入口より指、箸、スプーンなどを入れないでください。

ボウルカバーを開ける際は、機械が完全に止まっていることを確認してから開けてください。



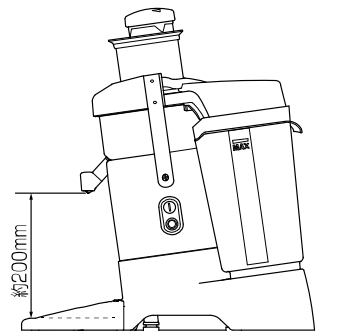
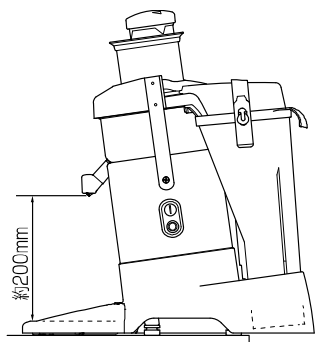
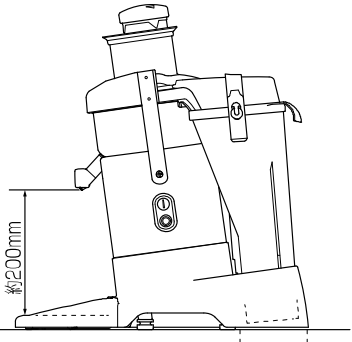


# 本機の各部品の組合せについて

本機は、使用する条件に合わせて部品を組み合わせるにより、便利に使い分けいただくことができます。

## お願い

果肉排出チューブをご使用になる場合は、ゴムバンドで固定してください。  
調理中、機械の振動により果肉排出チューブが外れることがあります。

使用条件	組合せ	イメージ
<p>果汁(ジュース)を受ける容器の高さが160~190mm未満のものを 使用する場合</p>	<p>本体 マシン台 果肉容器 受け皿</p>	
<p>果汁(ジュース)を受ける容器の高さが160~190mmのものを 使用する場合 連続で大量の食材を調理する 場合 台またはカウンターの下に果肉 を受ける容器をセットして、果肉 を受ける場合</p>	<p>本体 マシン台 果肉排出チューブ 受け皿 ゴムバンド</p>	
<p>果汁(ジュース)を受ける容器の高さが160~190mmのものを 使用する場合 連続で大量の食材を調理する 場合 台またはカウンターの天板に穴 (φ100mm)を開けて、中に果肉 を受ける容器をセットして、果肉 を受ける場合</p>	<p>本体 マシン台 果肉排出チューブ 受け皿 ゴムバンド</p>	



注ぎ口と注ぎ口(大)は、果汁(ジュース)を受ける容器の高さに合わせて、使い分けてください。

注ぎ口



注ぎ口(大)



# お手入れ

いつも清潔にご使用いただくためと、機械を長持ちさせるために、次の場合、必ず「お手入れ」をおこなってください

- 初めて機械を使用する場合。
- 調理後、速やかに。
- 繰り返し使用する場合、30分おき。

## ⚠ 警告



本体に直接水をかけないこと  
漏電、ショート、感電の原因になります。

## ⚠ 注意



お手入れや点検のときは、停止スイッチ「◎」(赤色)を押して機械を止め、コンセントから電源プラグを抜くこと  
コンセントに電源プラグが差し込まれた状態で、誤って連続調理スイッチ「①」(緑色)を押してしまった場合、ケガの原因になります。  
漏電、ショート、感電の原因にもなります。

ご使用後、フィルターバスケット、ジュース収集ボウル、ボウルカバー、ガイド、果肉容器、果肉排出チューブ、ゴムバンド、マシン台、受け皿は、洗浄剤を使って洗浄をおこなうこと  
洗浄が行き届きの場合、付着した食材や果汁(ジュース)が腐敗したり雑菌が繁殖して健康障害の原因になります。



フィルターバスケットの刃の部分は直接触らないこと  
ケガの原因になります。

## お願い

ボウルカバーとフィルターバスケット、ジュース収集ボウル、注ぎ口、ガイド、果肉容器、マシン台、受け皿、果肉排出チューブ、ゴムバンドは、食器洗浄機などは使用せずに85℃以下のお湯で洗浄してください。

高温洗浄すると樹脂部分の変形や、変色の原因になります。

次亜塩素酸ソーダを含む除菌剤や電解酸性水、オゾン水は、使用しないでください。

部品の劣化、変色の原因になります。

清掃をするとき、クレンザー、酸類、アルカリ性洗剤、ベンジン、ガソリン、シンナーなどは使用しないでください。

傷がついたり、破損したりする原因になります。

## お願い

気泡性、強力な浸食性、有毒性のある洗浄剤は絶対に使用しないでください。  
やむを得ず、塩素系の洗剤や電解酸性水、オゾン水などを使用して洗浄をおこなう場合は、  
漬け置きしないで洗浄してください。

洗浄後は、十分すすいでから速やかに水気を切り、完全に乾燥させてください。

塩素系の洗剤や電解酸性水、オゾン水などに、漬け置きしますと、錆および腐食の原因  
になります。

除菌洗浄をおこなう際の洗浄剤は、無泡性および低発泡性で、厨房設備および調理器具用  
のものを使用し、入れすぎないようにしてください。

濃度が濃すぎると金属、プラスチック、ゴムの部品を損傷します。

除菌洗浄剤、アルコール除菌剤の使用については、各々の定める使用方法および、使用上  
の注意事項に従ってください。

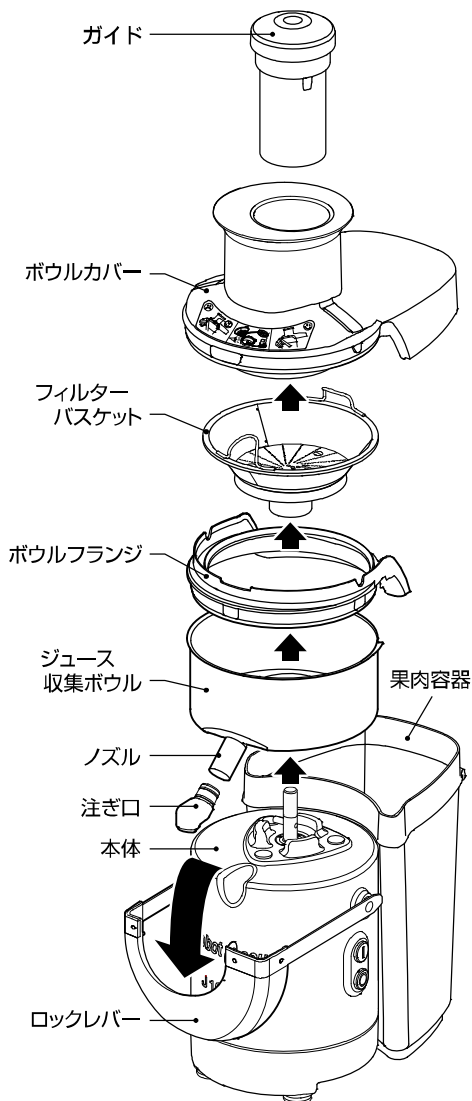
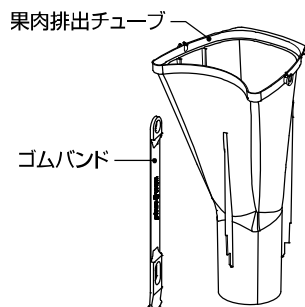
# 各製品の洗浄

1. ロックレバーを解除し、本体よりガイド、ボウルカバー、ジュース収集ボウル、フィルターバスケットを取り外してください

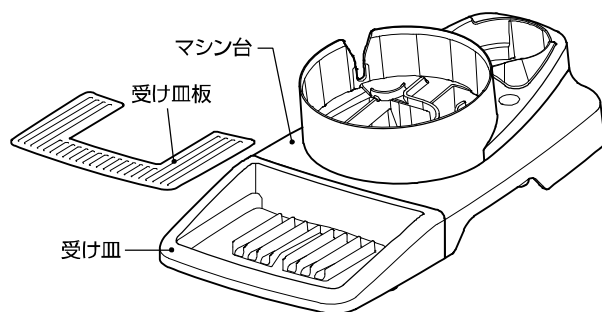
2. ジュース収集ボウルからボウルフランジと注ぎ口を取り外してください

3. 水または温水を流しながら、ガイド、ボウルカバー、ジュース収集ボウル、フィルターバスケット、果肉容器をすすぎ洗いして食材や果汁（ジュース）を流し取ってください

果肉排出チューブやゴムバンドをお使いいただいた場合は、同様に水または温水を流しながら、すすぎ洗いして食材や果汁（ジュース）を流し取ってください。



4. マシン台、受け皿、受け皿板も同様に水または温水を流しながら、すすぎ洗いして食材や果汁（ジュース）を流し取ってください



5. シンクなどにぬるま湯を入れ、定められた使用濃度の分量の除菌洗剤を入れて溶かしてください

6. ガイド、ボウルカバー、ジュース収集ボウル、注ぎ口、フィルターバスケット、果肉容器、果肉排出チューブ、ゴムバンド、マシン台、受け皿、受け皿板を除菌洗剤を入れたぬるま湯の中で、布かスポンジを使ってきれいに洗ってください



**お願い**

硬いタワシなどでこすらないでください。  
傷がつく恐れがありますのでご注意ください。

7. 除菌洗剤を使用して洗った各部品は、流水で十分すすぎ洗いをして、洗剤成分を完全に洗い流してください

8. すすぎ洗いした各部品は、速やかに除菌済みのきれいな乾いた布などで水分を拭き取り、十分空気乾燥させてください

9. 乾燥した各部品にアルコール除菌剤をスプレーしてください

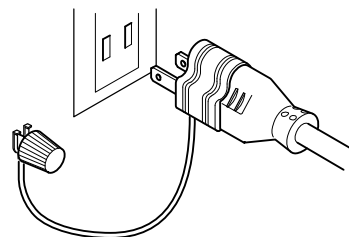
# 本体の清掃

## 警告



本体に直接水をかけないこと  
漏電、ショート、感電の原因になります。

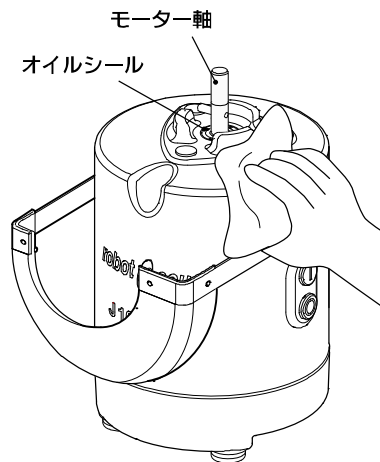
### 1. コンセントから、電源プラグを抜いてください



### 2. モーター軸部および本体外装部は、除菌洗剤を入れて溶かしたぬるま湯で布巾を絞り、汚れをきれいに拭き取ってください

#### お願い

モーター軸部には、オイルシールが付いていますので、傷を付けないように注意してください。  
オイルシールを損傷しますと、ボウルから食材や果汁（ジュース）が漏れた場合、モーター軸内部へ流れ込み、故障の原因になります。



### 3. すすぎ用のきれいな水で絞った布で拭いて、完全に洗剤成分を拭き取って空気乾燥させてください

### 4. アルコール除菌剤をしみ込ませた布で拭いて除菌作業をおこなってください

#### お願い

アルコール除菌剤の使用については、各々の定める使用方法、および使用上の注意に従ってください。

保管される場合は、乾燥した場所に保管してください。

# 故障の診断と手当

故障かなと思われ修理を依頼する前に、次の項目を確認してください。

症状が改善されないときや「手当」の欄に「お買上げ店へ連絡してください。」と記載されている場合は、本機の停止スイッチ「◎」(赤色)を押して機械を止め、コンセントから電源プラグも抜いて、早急にお買上げ店へ連絡してください。

ご連絡の場合は、本機の型式名、機番、お買上げ日、故障状況(できるだけ詳しく)をお知らせください。

状 態	確認 / 症状	手 当
連続調理スイッチ「①」(緑色)を押しても動作しない。	電源プラグが抜けていませんか？	電源プラグが抜けている場合は、コンセントに、電源プラグを差し込んでください。
	ボウルカバー、ロックレバーは、正しくセットされていますか？	ボウルカバー、ロックレバーを正しくセットしてください。
	モーター保護装置が動作している可能性があります。	停止スイッチを押して、機械を止めてください。 止まる原因になった食材を取り除いて、機械の底面にあるリセットスイッチを押して1～2分待ってから、再スタートしてください。
本機から異常音が発生する。	丈夫な所に設置していますか？	丈夫な場所に設置してください。
	据え付けが悪く、がたついていませんか？	水平で平らな場所に据え付けてください。
	本機に何か触れた状態になっていませんか？	接触しているものを取り除いてください。
	ジュース収集ボウル、フィルターバスケット、ボウルカバー、果肉容器が正しくセットされていますか？	ジュース収集ボウル、フィルターバスケット、ボウルカバー、果肉容器を正しくセットしてください。
モーターから異常音が発生する。 回転振動が大きい。	モーター不良	お買上げ店へ連絡してください。
	モーター軸受け不良	
漏電遮断器が切れる。	漏電遮断器のレバーの位置が「OFF(切)」になっていませんか？	漏電遮断器が「OFF(切)」に作動した場合には、お買上げ店へ連絡してください。 レバーが「OFF(切)」になっていると漏電している可能性があります。 無理にレバーを「ON(入)」にすると、感電や火災の原因になります。



状 態	確認 / 症状	手 当
電源コードやプラグが異常に熱くなる。	—	お買上げ店へ連絡してください。
電源コードを折り曲げると通電したり、しなかったりする。	—	お買上げ店へ連絡してください。
モーターの回転が不規則であったり、止まったり、遅かったりする。	—	お買上げ店へ連絡してください。

# 仕様

品名	ロボクーブ ジューサー	
型式	J-100	
外形寸法	幅 566・奥行 262・高さ 628mm	
電源	100V 50 / 60Hz	
電流	13.5 A (15分定格)	
消費電力	1.0 kW	
安全装置	蓋安全装置、モーター保護装置、リセットスイッチ	
回転数	3,000r.p.m. (50Hz) / 3,600r.p.m. (60Hz) 無負荷時	
材質	本体	ステンレス、プラスチック
	ポウルカバー	ABS樹脂
	ガイド	ポリプロピレン
	フィルター バスケット	ステンレス、ポリアミド、グラスファイバー
	果肉容器	ポリプロピレン
	果肉排出 チューブ	ポリプロピレン
果肉容器容量	7.5L	
質量	12.8 kg	
電源コード	長さ：1.5m	

※上記の仕様は、品質向上のため予告なしに変更されることがありますのでご了承ください。

## 梱包内容一覧

パッケージには、次のものが入っています。足りない場合は、お買上げ店へ連絡してください。

本体（モーター部、マシン台、果肉容器付）	1 個
受け皿（受け皿板付）	1 個
果肉排出チューブ（ゴムバンド付）	1 個
注ぎ口（大）	1 個
取扱説明書（本書）	1 冊

# 保証書(別添付)について

保証書の内容をよくお読みのうえ、必要事項を必ずご記入ください。

保証書から返信ハガキを切取っていただき、保証書は紛失にご注意され、お客様にて大切に保管してください。

返信ハガキは商品ご購入後、1か月以内にご返信ください。

## 消耗部品

本商品の消耗部品は以下のものになります。

ガイド	ボウルカバー
注ぎ口	フィルターバスケット
果肉容器	果肉排出チューブ
ゴムバンド	マシン台
受け皿	受け皿板
パッキン類	オイルシール

## 補修用性能部品の保有期間

補修用性能部品とは、本商品の性能を維持するために必要な部品です。

弊社では、本商品の補修用性能部品の保有期間は、販売打ち切り後8年とさせていただきます。

# 株式会社エフ・エム・アイ

東京：〒106-0041 東京都港区麻布台1丁目11番9号 Tel.03(5561)6521

大阪：〒538-0044 大阪市鶴見区放出東3丁目11番31号 Tel.06(6969)9393

営業所 札幌：〒003-0002 札幌市白石区東札幌二条5丁目4番1号 Tel.011(813)8651

仙台：〒983-0039 仙台市宮城野区新田東1丁目15番6号 Tel.022(238)5711

名古屋：〒454-0822 名古屋市中川区四女子町2丁目46番地 Tel.052(361)7891

広島：〒731-0102 広島市安佐南区川内6丁目43番9号 Tel.082(876)1855

福岡：〒812-0839 福岡市博多区那珂1丁目30番21号 Tel.092(481)2931

出張所 北陸：〒921-8027 金沢市神田1丁目23番11号 Tel.076(243)7810

沖縄：〒901-2214 宜野湾市我如古1丁目54番21号 Tel.098(870)2766

サービス 盛岡：〒020-0124 盛岡市厨川4丁目14番5号 Tel.019(648)5390

ステーション 四国：〒768-0012 香川県観音寺市植田町155番地1 Tel.0875(57)5161

鹿児島：〒890-0073 鹿児島市宇宿1丁目15番8号 Tel.099(263)8281

東京修理工場：〒130-0011 東京都墨田区石原4丁目35番7号 Tel.03(5819)1280

ホームページ <http://www.fmi.co.jp/>

202010 PD'